

ものづくりの仕事のしくみと
生産性向上

コース番号：048-025

2024年

開催日時：10月1日(火)
9:30~16:30 (6時間)

募集締切：9月17日(火)

開催場所：ポリテクセンター山梨
定員：16名程度 (先着順)
推奨者：初任層~中堅層受講料
3,300円 (税込)

コースの狙い

製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得します。

主な訓練内容

◎ ものづくりの仕事の流れ

- (1) 製造業とは
製品ができるプロセスと製品ライフサイクルについて、基本的な知識を解説。
- (2) 工場の形態と仕事の流れ
工場の全体像を理解するために、工場の種類や工場での一般的な仕事の流れを解説。
- (3) 工場内の主な部門と役割
工場に必要な機能・役割や一般的な部門を紹介するとともに、受講者の工場に当てはめて、各部門の役割を説明。
- (4) ものづくりの心構え
ものづくりをしていくため、特に改善活動を進めるために必要なマインド・心構えを紹介。

◎ ものづくり現場の現状と課題

- (1) 生産の基本要件「QCDと人・もの・時間」
生産で考えるべき基本要件を説明しながら、バランスの取れた全体最適なものづくりの重要性を解説。
- (2) 生産管理の基本的な考え方 ~生産計画と生産統制~
生産管理の二本柱である生産計画と生産統制において、必要な業務を説明。
- (3) 工数管理と原価管理 【演習あり】
作業時間や工数の考え方、工数低減の重要性について説明。
- (4) 生産性を評価する指標 【演習あり】
生産性を算出・評価することの重要性を説明。

◎ ものづくりに関する業務改善

- (1) 生産の前提条件 5Sと見える化・標準作業 【演習あり】
職場で効率的な仕事をするための前提として取り組む課題、目で見える管理を説明。
- (2) 生産工程の現状分析手法
誰でも適切に問題点を把握できるようにするため、現状調査・分析の手順を解説。
- (3) ムリ・ムダ・ムラと問題点の抽出 【演習あり】
ムリ・ムダ・ムラの概要と7つのムダについて説明するとともに、問題点を漏れなく抽出するための考え方も解説。
- (4) 生産効率化の考え方 【演習あり】
生産現場でよくある課題と、効率化のための考え方を紹介。

○ 訓練内容のココがポイント！

- ・若年層向けに序盤で製造業での仕事や工場の役割など、ものづくりの基本的な内容に触れ、中堅・リーダー向けに中盤で工数管理や原価管理、生産性など管理・改善に関する内容も取り入れます。
- ・受講者との対話・質問・発表の機会を多く設けることで、理解度の確認や意欲の喚起を図ります。
- ・現状分析やムリ・ムダ・ムラなどの問題点抽出には、講義に加えて事例や演習を多く取り入れ、問題意識を高めます。
- ・基本的な演習と自社・自職場を想定した演習の両方を実施し、研修後も自職場で改善を進めていくことができるきっかけにします。

実施機関 & 講師

一般社団法人日本経営協会
きよせ経営パートナーオフィス 代表
中小企業診断士

清瀬 和彦 氏



講師Profile

大手企業の生産技術開発部門に所属し、社内の各種工場を対象に、生産技術開発、現場改善、製品開発に従事するほか、工場関連業務、海外工場立ち上げ等、豊富な経験を有する。
2014年からは経営コンサルタントとして、経営改善指導等の他、研修・セミナー講師としても活動している。

お申し込みは